



生命の謎 解明へ

校長

【はやぶさ2からの「玉手箱」】

日本の小惑星探査機「はやぶさ2」が約52億キロメートルに及ぶ長旅を経て、小惑星「リュウグウ」から地球に送ったカプセルが昨年12月6日に届きました。「はやぶさ2」が採取したカプセルの中の試料は、100円玉1枚ほどの重さ5.4グラムだそうです。

JAXAは、まず初めに、カプセルに収められた小惑星「リュウグウ」の石や砂を大きさや色、形などで分けました。今回の調査の最大の目的は、採取した試料の中から、炭素を骨格とする有機物を見つけ、その種類や特徴を明らかにしていくことです。国内の大学の研究室では、実験用クリーンブースを新調し、地球のものと混じらないように、外気を遮断したブース内の顕微鏡で慎重に作業を進めるそうです。

6月17日にJAXAが開いた会見で、初期分析の結果として、大量の水をつくるのに十分な水素原子と、生命の材料となる有機物の分子が確認されたと発表がありました。有機物は、液体の水と並んで生命を形作るのに必須の物質です。今後、日米など14カ国の研究者が本格的に分析し、約1年かけて詳しい構造や成分などを調べていく予定です。

さて、大久保小学校の児童の皆さん、2年ぶりの7月からの夏休みまで、残り20日ですね。1学期のまとめをしっかり行い、有意義な夏休みを迎える準備をしましょう。今年の夏休みは、今回紹介した内容なども参考にして、いろいろなことに興味を持ち、じっくりと調べ学習などに取り組めるようにしましょう。

※宇宙を体験するチャンス

GIGAスクール特別講座～君も宇宙へ～ 【JAXA配信動画】 インターネットで検索

令和3年7月6日(火) 17:35～18:20 宇宙(ISS)にいる宇宙飛行士に質問などできる！